事 業 報 告 書

1 支援団体名	特定非営利活動法人 大淀川流域ネットワーク
2 事業名称	第13回 九州「川」のワークショップ in 宮崎
3 実施日時	平成２５年１０月１９日・２０日
4 実施場所	みやざきアートセンター
5 事業目的、内容及びその効果	（事業実施状況・内容） 10 月 19 日（土） 13:00 開会 、 13:20 オープニング 大塚八幡神社 神楽 13:40 発表（45 団体） 子どもの部、環境保全の部、安全安心の部、利活用の部、川づくりの部 、 19:00 交流会 10 月 20 日（日） 10:00 発表者アピールタイム（情報交換の時間） 、 11:50 選好投票 11:30 全体討論 、総合コーディネータ 金子好雄（東海大学 産業工学部） 12:00 表彰式、講評、次期開催地への引継 、12:30 閉会 14:00 エクスカーション 大淀川学習館・水辺の楽校 見学会 ※発表の詳細別冊
	（事業実施効果） 本事業では、九州内の「水・森（山林、川、ため池、水田、水路、海、干潟など）」や「都市・農山村」の水環境の保全や改善に関わる活動、「環境教育」や「防災・減災」活動の実践・推進等による地球にやさしい暮らしの普及啓発をしている市民団体・NPO法人・国・地方自治体・企業など、45 団体から 2 日間で総数 395 名が参加して、活動を発表・意見交換し、他の団体の活動状況や手法を学び・理解して、今後の自らの活動の糧とするとともに異分野交流や行政と市民団体のパートナーシップ、地域連携、流域連携による活動を推進することができた。 宮崎では「川の恵みを次世代に継承する」をメインテーマとし、健全な水環境の構築による流域環境の保全を軸にしながら、九州にある豊かで多様な自然と人間が共存していくために必要な考え方や取り組み、環境に優しい生活のあり方を一緒に検討していく場として、運営スタッフに九州の 5 大学（九州大学・熊本大学・宮崎大学・東海大学・南九州大学）の学生 20 名を採用した。また、2 高校（宮崎県立延岡工業高校・宮崎県立都城工業高校）、1 専門学校（熊本高等専門学校）、6 大学（九州大学・九州工業大学・福岡大学・鹿児島大学・東海大学・日本文理大学）が発表者として参加し、次世代の人材育成を図ることができた。
6 参加内訳	総人数 ３９５ 名
	（１）主催者参加 １０ 名
	（２）日本人参加（（１）を除く） ３８５ 名
	（３）外国人参加（（１）を除く） ０ 名

7 今 後 の 方 針	本事業で市民団体と行政・企業が共に発表する舞台や議論の場を準備することによって得られた、パートナーシップによる地域連携・流域連携による活動を、さらに円滑におこなうことができるよう、次期開催地である鹿児島県へ引継を行い情報を共有する。 また、九州各河川流域のあらゆる場で活躍している人々が、川の恵みを実感し体験するために克服しなければならない課題とその解決法について情報の共有化を図るために、川の恵みを次世代に引き継ぐことができる地域づくりを有効に促進する活動を継続して実施する。

状況写真（受付）

状況写真（オープニング　神楽）

状況写真（発表の様子１）

状況写真（発表の様子２）

状況写真（表彰）

状況写真（次期開催地への引継）